

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	柔道整復実践実技IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	2校舎3階 実技室
担 当 教 員	澤 卓実	実務経験と その関連資格	専科教員(平成22年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成29年)、附属接骨院(平成19年～平成26年:柔道整復業務に 従事)			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復実技には診察および整復・検査の能力と固定の能力、包帯の能力、口述の能力がある。 認定実技審査整復31項目の実技						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
包帯、各種固定材料 柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
柔道整復学教科書を参考に軟部組織損傷の各項目を復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
認定実技審査合格に向けて、クラス一丸となって練習に取り組んでください。練習量が合格に直結します。術者だけでなく、交代で患者役、 助手役をすることで理解はより深まります。協力して練習しましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘関節脱臼の固定法が行えるようになる。	包帯 クラーメル副子	柔道整復理論	
		各コマにおける授業予定	認定実技審査の説明、肘関節後方脱臼固定法、			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論	
		各コマにおける授業予定	肩関節前方脱臼固定法、鎖骨骨折固定法			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折の固定法が行えるようになる。	包帯 クラーメル副子	柔道整復理論	
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折固定法			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	第2指PIP関節脱臼、第5中手骨骨折の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論	
		各コマにおける授業予定	第2指PIP関節背側脱臼固定法、第5中手骨頸部骨折固定法			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	肋骨骨折、上腕骨骨折の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論	
		各コマにおける授業予定	肋骨骨折固定法1、上腕骨骨幹部骨折固定法1			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	肋骨骨折、上腕骨骨折の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	肋骨骨折固定法2、上腕骨骨幹部骨折固定法2		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	アキレス腱損傷の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	アキレス腱断裂固定法		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨折、足関節捻挫の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	下腿骨骨幹部骨折固定法、足関節捻挫固定法、		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼、足関節捻挫の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	肩鎖関節脱臼固定法、バスケットウィーブ、		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	足関節捻挫、膝の靭帯損傷の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	フィギュアエイト・ヒールロック、膝MCLテーピング		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘関節脱臼の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	認定実技審査の説明、肘関節後方脱臼固定法、		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	肩関節前方脱臼固定法、鎖骨骨折固定法		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折固定法		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	第2指PIP関節脱臼、第5中手骨骨折の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	第2指PIP関節背側脱臼固定法、第5中手骨頸部骨折固定法		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	肋骨骨折、上腕骨骨折の固定法が行えるようになる。	包帯	柔道整復理論
		各コマにおける授業予定	肋骨骨折固定法、上腕骨骨幹部骨折固定法		